

BMW 130i

目次



本プレスキットの内容は、ドイツ国内市場向け（2005年8月現在）の仕様を基準として記載されており、その他の市場においては仕様、標準装備品、オプション設定などが異なる場合もあります。本プレスキットでは、ドイツ仕様でのオプション装備品には「*」マークが付記されています。また、車体寸法、エンジン出力などはBMW AG発表のデータとなるため、日本仕様とは異なる場合があります。なお、仕様は随時変更される可能性がありますので予めご了承ください。

| | |
|---------------------|---|
| 1. ハイライト | 3 |
| 2. ショート・ストーリー | 6 |



1. ハイライト

優れた製品の概要

**コンパクト・セグメントの基準を定め、その基準を越える
最も重要な標準装備品**

パッケージ

躍動感あふれるパフォーマンス、後輪駆動方式による精密かつ極めてダイナミックなシャーシ / サスペンション、セグメント最長を誇るホイールベース、コンパクト・セグメントを代表するエクステリア寸法、バランスのとれた前後重量配分などを特徴とする 5 ドア・テールゲート付きセダン。

ドライブトレイン

直列 6 気筒エンジンをフロントに縦置き搭載し、後輪駆動方式を採用したセグメント唯一のモデル。可変バルブ・タイミング機構とコンフォート・スタート機能を装備。

パワー・ユニット

BMW 130i には、最高出力 195 kW (265 ps) を発生する、総排気量 2,996 cc の 6 気筒エンジンを搭載。バルブトロニック、ダブル VANOS、マグネシウム-アルミニウム合金製クランクケース、マグネシウム製シリンダー・ヘッド・カバー、電動ウォーター・ポンプを装備。セグメント最軽量の 6 気筒エンジン (161 kg) でありながら、最大トルク 315 Nm (32.1kgm) / 2,500–4,000 rpm を発生。

0–100 km/h 加速性能 : 6.1 秒

最高速度 : 250 km/h (電子制御)

燃料消費量 (EU 複合試験モード) : 100km 走行あたり 9.2 リットル

6 速マニュアル・トランスミッション搭載

シャーシ、サスペンション、アクティブ・セーフティ

すでに高い基準にある快適性と走行安全性を兼ね備え、コンパクト・セグメントのものとは思えない真の卓越した運動性能を実現。フロントにアルミ製ダブル・ジョイント・タイバー・アクスル、リアに軽量スチール構造の 5 リンク・アクスルを装備。走行安定性を維持するダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) は、濡れた状態のブレーキを乾燥させるドライ・ブレーキング機能や、ドライバーがアクセルを素早く戻すような瞬間に備えて事前にブレーキ・パッドに圧力を加えておくブレーキ・スタンバイ機能や、ブレーキが高温になってもフェード現象を発生させないアンチ・フェーディング機能など、広範囲にわたって機能を強化しました。

また、坂道発進時に車両が後退するのを防止する坂道発進アシスタント機能、ダイナミック・トラクション・コントロール (DTC)、オートマチック・スタビリティ・コントロール (ASC)、エレクトロニック・ディファレンシャル・ロック、アンチロック・ブレーキ・システム (ABS)、ダイナミック・ブレーキ・コントロール (DBC)、コーナリング・ブレーキ・コントロール (CBC)、エレクトロニック・ブレーキ・フォース・ディストリビューション (EBFD) を装備しており、コンパクト・セグメントで最も優れた減速・停止性能を発揮します。さらに 2 段階式アダプティブ・ブレーキ・ディスプレイ、ブレーキ・パッド磨耗表示機能、タイヤ空気圧警告灯、17 インチ・アロイ・ホイール、フォグランプを装備。

ボディ構造

5 ドア・テールゲート付きセダンのボディは軽量スチール構造で、高張力鋼を採用して重量を最小限まで削減。コンパクト・セグメント最長を誇るホイールベース、ワイドなトレッド、非常に極端なフロントのショート・オーバーハングを特徴としています。全席に 3 点式シートベルトを装備し、後席には乗員 3 名分のヘッドレストを用意。積載容量 330 ~ 1,150 リットルの可変容量式のラゲッジ・ルームには高い位置まで開き、荷物の積み降ろしが容易なテールゲート、非対称分割可倒式リア・シート・バックレスト、2 段式ラゲッジ・フロア、荷室とキャビンを仕切るパーティション・ネット*を装備。

パッシブ・セーフティ

非常に精密なドライビングと最適な衝突安全性を発揮する、極めて頑丈なホワイト・ボディ。すべてのドア内側にはセーフティ・フック付きの高強度サイド・インパクト・プロテクションを装備。運転席 & 助手席 2 段階展開式エアバッグ、運転席 & 助手席サイド・エアバッグ、フロント & リア・カーテン式ヘッド・エアバッグ、ベルト・キャッチ・テンショナーおよびベルト・フォース・リミッター付フロント・シートベルト、事故発生直後に電源を遮断し、燃料ポンプを停止させ、ドア・ロックを解除し、ハザード・フラッシャーを点滅させ、ルーム・ランプを点灯させるセーフティ・スイッチで構成された、総合的乗員保護システム。

BMW 1 シリーズは、ユーロ NCAP 衝突試験において最高得点 (5 つ星) を獲得。

標準装備品

コンフォート・スタート機能を備えたエンジン・スタート・ボタン。レザー・スポーツ・ステアリング・ホイール。レザー製シフト・ノブ付きの非常に短いシフト・レバー。さまざまな表示機能を備えた円型メーター。リモート・コントロール機能付きイグニッションキー (充電式)。車両のロック解除に使用したキーを識別し、ラジオ、エアコン、電動シート、電動ミラーを特定のキーを持つユーザーに要求に合わせて自動調節する機能。エンジンの始動容易性を維持するバッテリー充電センサー。オンボード・コンピューター。

ほとんどの消耗部品に関して次回の交換時期までの残走行距離を表示する機能。クロム・メッキが施され、スポーティで重厚なサウンドを奏でるデュアル・エグゾースト・システム。クロム・メッキが施されたドア・エントリー・トリム。運転席＆助手席シート高さ調節機能。運転席側＆助手席で独立温度調節が可能なオートマチック・エア・コンディショナー。BMW Business オーディオ・システム (CD プレーヤー付き) 。



2. シヨート・ストーリー

BMW 130i :

駆けぬける歓びの新次元

スポーツ・カーの血統を受け継ぐ力強いパフォーマンスと、コンパクトな5ドア・セダンの実用的な走行特性。まさにこれは、熱烈な多くのドライバーが長年待ち望んできた組み合わせです。そして今、その願いが実現します。BMW 130i は、かつてないレベルの駆けぬける歓びを提供します。

最高出力 195 kW (265 ps) を発生する直列 6 気筒エンジンを搭載したニューBMW 130i は、以前であればモータースポーツの世界でしか見受けられなかったパワーとパフォーマンスの世界に入りました。総排気量 3,000 cc の、バルブトロニックと革命的なライトウェイト・テクノロジーを採用したBMW 130i のエンジンは、優れたパワーと総合的な効率のよさに関する分野で新たな次元に踏み込みました。この新開発エンジンは、極めて軽量のマグネシウム-アルミニウム合金製クランクケースを持つ世界初の量産エンジンであり、優れたエンジン・テクノロジーにより、BMW 130i に比類ないオールラウンドな品質を与えています。

後輪駆動、最先端の高性能サスペンション・テクノロジー、完璧な重量バランスによって、抜きん出た敏捷性、直進安定性、ステアリング精度に欠かせないすべての要因を提供します。BMW 130i が誇るもう 1 つの新しい革新性は、BMW 独自の画期的なアクティブ・ステアリング*です。このセグメントにおけるさらにもう 1 つの新機能は最新世代のダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) で、ブレーキ機能が充実されたおかげで、走行快適性と走行安全性が向上しています。

こうしたすべての機能により、コンパクト・セグメントでは類を見ない走行体験を提供します。事実、BMW 130i はすでに好評を博しているBMW 1 シリーズのフラッグシップ・モデルとして頂点を極めます。

最高の駆けぬける歓びを提供するために考案されたドライブ・コンセプトの恩恵を受けている 4 気筒ガソリン・エンジンを搭載したBMW 116i、118i、120i は、ディーゼル・モデルのBMW 118d および 120d と同様に、最高の駆けぬける歓びを求めて採用されたドライブ・コンセプトを通じて、すでに世間の注目を浴びてきました。そして今、このセグメントに非常にスリリングなニュー・モデルを投入することで、BMW 130i は引き続き 1 シリーズのモデル・レンジのサクセス・ストーリーを体現します。

生粋の BMW – コンパクト・セグメントの新しい走行体験

力強いエンジン・パワーを後輪に伝達するパワフルなトランスミッションが、最高水準の駆けぬける歓びを約束します。4枚のドア、大型のテールゲート、高度に多目的で非常に特別なインテリアは、優れた機能をオールラウンドに発揮します。実際にコンパクト・セグメントの中で後輪駆動方式を採用している唯一のクルマとして、BMW 1シリーズに特別なキャラクターを与えています。結果として、生粋の BMW の証であるすべての走行特性や操縦特性を持ち、あらゆる場面において優れた運動性能、正確なハンドリング、最適なトラクションを発揮します。そして今、BMW 130i は、こうして走りの歓びを従来よりも高いレベルへと導きます。

コンパクトなクルマに高性能エンジンと後輪駆動方式を組み合わせるというコンセプトは、約 40 年前に初めて BMW のエンジン開発専門家によってその能力の高さが認められ、最も純粋な形で提供される駆けぬける歓びの姿に好感がもたれました。このアイデアによる緊張感あふれる体験は、今日に至るまで変わらず継承され、現在 BMW 130i というクライマックスを迎え、このコンセプトの実用的な走行特性に結実しています。

小柄なエクステリア、フロントの極端に短いオーバーハング、軽量さ、幅広のトレッド、セグメント最長のホイールベース (2660mm) などの特徴を備える BMW 1シリーズは、最高の俊敏性を発揮するために必要な最適な要素を提供します。この他にも、理想的な 50 : 50 の前後軸重量配分、自然なステアリング操作で安全なハンドリングを実現する素晴らしいアクスル・バランス、前後の車輪に均等に作用する遠心力のおかげで発揮できる高速コーナリング時の卓越した安定性などがあります。

新開発の 5 リンク式リア・アクスルは、BMW 130i 用にさらに改良され、全体的に非常にスポーティなセッティングを可能にすると同時に、走行快適性を一際優れた新たな段階へと高めています。頑丈な構造、直線的で円柱形状のアーム、短いレバーで構成される革新的な軽量スチール構造が、精度の高いホイール・ガイダンスを約束します。

また、フロント・アクスルの特殊なデザインおよびレイアウトは、運動性能の最適化の面で BMW 1シリーズに貢献しています。ダブル・ジョイント・スプリング・ストラット式タイバー・アクスルは、アンチロール・バーも含めて大部分がアルミ製であり、軽量化と傑出した強度および剛性を兼ね備えています。

この革新的なサスペンション・テクノロジーのメリットは、特にパワーを後輪に伝達する際に連動して効果的に作用し、BMW 1シリーズは高速走行時でも驚くほど高精度の方向安定性を発揮します。もう 1 つの優れた長所として、ステアリングやアクセルをほんの少し操作するだけでもこのクルマは自然に反応しますが、BMW 1シリーズの場合は、前輪駆動車では避けることのできない駆動力によるステアリングへの好ましくない影響を受け

ることはできません。しかも、それだけでなく、ドライバーはステアリングを通じて路面状態に関する正しいフィードバックを受け取ることができます。

革新的 BMW アクティブ・ステアリングが、ついに BMW 1 シリーズにも
BMW 130i に装備されるこのセグメント初のアクティブ・ステアリング*は、あらゆる状況において、非常に滑らかで正確なステアリング特性を発揮します。ステアリングのギア比とステアリングへのサポート力は、その時々の車速に応じて自動的に調整されます。したがって、ドライバーは車速に関係なく、次々に現れる新しいコーナーに向けて車両を正確に誘導することができます。

また低速走行時においても、ドライバーは取り回しが非常に楽にできることがわかります。なぜなら、駐車時などの場合でもドライバーはステアリングを少し回すだけで良いからです。高速走行時には、ステアリングのギア比が最適な精度を発揮して、現在の車速に応じてダイレクト感を抑えた反応を維持します。

エンジン - コンパクト・セグメントを超えた優れた成果

BMW 1 シリーズは、とりわけ非常にアクティブなキャラクターとオールラウンドな走行特性の面で秀でています。その比類ないコンセプトを通じて、コンパクト・セグメントにおいても BMW の魅力あふれる特性をあらゆる面で放っています。さらに BMW 130i では、躍動感あふれるパフォーマンス、エンジン・パワー、動力伝達の分野において、一般的なクラスや基準をはるかに超えた、全く新しい次元を実現しています。

BMW 130i が最高の位置を占める理由は、エンジン構造の分野において新しいページを開く、コンパクト・セグメントを超えたエンジンのおかげです。この比類ないクルマに搭載されている総排気量 2,996 cc の直列 6 気筒エンジンは、最高出力 195 kW (265 ps)、最大トルク 315 Nm/2,500–4,000 rpm を発生し、最も新しく、最も強力で、最も効率の良いエンジンであると同時に、この種のエンジンとしては世界で最も軽いエンジンです。したがってユーザーは、模範的ともいえる滑らかさと経済性を両立させ、よどみなく発生するパワーとパフォーマンスによるメリットを受けられます。

重量わずか 161 kg の新開発 BMW 直列 6 気筒エンジンは、このセグメントで世界一軽いエンジンです。とりわけエンジン重量については、革新的なマグネシウム-アルミニウム合金製クランクケースにより重量最適化が図られています。アルミニウムより 27% も軽いマグネシウムをクランクケースに使用することで、従来のねずみ鉄製ケースに比べて大幅な重量削減が達成されています。

BMW の可変バルブ・リフト機構である「バルブトロニック」は、吸気バルブと排気バルブのバルブ・タイミングを可変式にしたバルブ・タイミング調整機構「ダブル VANOS」と連動して、非常に魅力的なオールラウンドの燃費効率を実現します。直列 6 気筒エンジンに初めて採用されたバルブトロニックは、従来型のスロットル・バタフライ式エンジンと比べて非常に優れたレスポンス実現すると同時に、燃料消費率も改善しています。結果として、BMW 130i のアクセルをオン・オフするたびに必要な燃料噴射量を極めて精密に計測し、優れた運動性能をもたらします。その反面、このクルマの燃費や排出ガス値については、これほどのパフォーマンスを誇るクルマとしては良好な数値を示しています。

また、注目に値する他の機能としては、2 本出しのクローム・テールパイプを特徴とする専用エグゾースト・システムがあります。アクセルをオン・オフするたびに、まさにこのクルマにふさわしいスポーティで低く轟くようなサウンドを奏でながら、ニューBMW 130i の比類ない魅力を大いに引き立てます。

BMW 製 3.0 リッター直列 6 気筒エンジンは、最新型のエンジン構造を採用しており、高品質なドライブトレイン・テクノロジーのシンボルとして認められています。実際、このエンジンは世界中のエンジン開発専門家の手本になっており、基準となるエンジンであるばかりか、スポーツとチャレンジが好きなドライバーに高く評価される理想的な特性も提供します。

この比類ないエンジンが持つ卓越した特性は、BMW のモデル・レンジに並ぶ多くのさまざまな車両に組み込まれています。たとえば BMW 630i クーペでは、この直列 6 気筒エンジンによる走行特性や効率性など、あらゆる点で最高峰の感動を経験できます。一方 BMW 530i では、この新開発エンジンによる走行快適性と躍動感あふれるパフォーマンスが完璧に融合されています。最後にニューBMW 330i の場合、総排気量 3.0 リッターの直列 6 気筒エンジンはモデル・シリーズ全体に貢献し、駆けぬける歓びの面でいっそうのリーダーシップを発揮します。

このエンジンを BMW 1 シリーズのボンネット内に収める決心を下したことで、BMW は単なる言葉、単なる事実や数字だけでは表現しきれないドライビング体験への道を開きました。それにもかかわらず、BMW 130i の性能や数値データは間違いなく感動を呼び起こすものであり、一例を示せば 6 速マニュアル・トランスミッションを搭載した BMW 130i は、停止状態から時速 100 キロまで加速するのにわずか 6.1 秒しか要しません。最高速度は電子的に 250 km/h に制限されています。こうしたまさにすば抜けた、コンパクト・セグメントとは思えないパフォーマンスを発揮するにもかかわらず、BMW 130i の平均燃費は 100 km 走行あたり 9.2 リットルです。

最高水準の乗員保護性能

BMW 130i のボディ構造には高張力鋼板が採用されており、そのため非常に堅牢で変形しにくく、最高の俊敏性を実現する基礎となっており、例えば素早い車線変更や急旋回時でも安全かつ安定した特性を示します。そのうえこのボディは BMW 130i の比類ないダイナミックなポテンシャルにも適切に対応しており、最悪の場合でも必要な安全空間を確保し、広範囲におよぶ総合的な乗員保護性能を提供します。

万一の衝突の際は、入念に検討され縦横に張り巡らされたサポート・バー・システムによって、車両に作用する衝撃をすべて、綿密に効率よく吸収します。その結果、乗員の居住空間は衝撃による影響をほとんど受けすことなく、乗員に作用する負荷を最小限に抑えます。車内に装備された広範なセーフティ・パッケージは、全ての座席に設けられた 3 点式シートベルト、運転席 & 助手席用 2 段階展開式エアバッグ、運転席 & 助手席用サイド・エアバッグ、サイド・ウインドウ全体を覆うカーテン式ヘッド・エアバッグで構成されており、前後席の乗員を負傷から保護します。

エアバッグ・システムに加えてベルト・キャッチ・テンショナーやベルト・フォース・リミッターなども、最先端の制御テクノロジーを駆使して作動します。衝突の種類や衝撃の強さにもよりますが、最適な乗員保護性能を提供するために、実際に必要な構成部品だけが作動します。さらに、セーフティ・バッテリー・ターミナルによりバッテリーの電流は衝突時に自動的に遮断され、燃料ポンプを停止させ、ドア・ロックを解除し、ハザード・フラッシャーとルーム・ランプを点灯させます。

小さなお子様の安全のために、BMW 1 シリーズは ISOFIX チャイルド・シート固定装置*を使って最大 3 個のチャイルド・シートを固定することができます。お子様の安全のために、必要に応じて専用のキー・スイッチを使って助手席エアバッグを非作動化させることもできます。BMW 1 シリーズのこうした安全装備が提供する効率の良さや総合的保護性能は、ユーロ NCAP 衝突試験すでに実証されており、非常に厳しい試験で最高点である 5 つ星を獲得しました。

アクティブ・セーフティのための新技術

BMW 1 シリーズの特徴である高水準の走行安定性は、最終的には安全に寄与する非常に重要な要因ですが、この種のクルマにおける予測不可能な状況では、運動性能の限界を超えることがあります。こうした理由から、BMW 1 シリーズには事故に至る危険性を大幅に低下させるためのテクノロジーがすべて装備されています。たとえば、障害物などに対する緊急回避行動や予期せぬ路面状態の変化により、危険な状況に陥った場合は、ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) が各ホイールのブレーキを個別に制御し、車両がコースを外れないようにするために、コントロールを失ってスピンしてしまうようなことはありません。

BMW 130i は、1 シリーズの中で最新世代のダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) が装備されている唯一のモデルです。この優れたシステムは、さらに多くの拡張ブレーキ機能を提供し、とりわけ制動距離を最短に抑えると同時に、カーブでブレーキを踏んだときなどでは、その時点の必要性に基づいて制動力を適切に分配させることで方向安定性を維持します。それ以外の点では、雨天時などで定期的にブレーキ・パッドをブレーキ・ディスクに短時間接触させて水滴を除去する「ドライ・ブレーキング機能」があり、一般に雨天時によくあるブレーキの反応の遅れを防いでいます。その他の有効な機能としては、ドライバーが素早くアクセルを戻したとき、事前にブレーキ圧を高めてパッドをディスクに接近させておき、ブレーキの応答時間を大幅に短縮する、というものがあります。

すでに知られているシステムで、BMW の DSC システムに統合された機能として、ダイナミック・ブレーキ・コントロール (DBC) があります。この機能は制動過程において DSC と同様の安全性と優位性を示します。その他にも、カーブでブレーキを軽くかけたときに車両がオーバーステア傾向になることを防止するコーナリング・ブレーキ・コントロール機能 (CBC) があります。また、エレクトロニック・ブレーキ・フォース・ディストリビューション (EBFD) は、その時点の必要性に基づいて制動力を配分します。こうしたシステムは、すべて DSC および ABS ドライビング・スタビリティ・システムの付加機能になっています。

オートマチック・スタビリティ・コントロール (ASC) は、滑りやすい路面や荒れた路面で発進する際に、安全なトラクションを確保するのに貢献します。また、BMW の最新世代の DSC の付加機能には、坂道発進時に車両の後退を防止する「坂道発進アシスタント」があります。また DSC にはダイナミック・トラクション・コントロール (DTC) という特殊モードが設定されており、この場合はホイールの空転率が高まります。

その上さらに、今回導入される BMW 130i の場合、コンパクト・セグメントでは稀有な安全性を強化する機能として、アダプティブ・ヘッドライト・コントロール*が装備可能です。この装備は他の 1 シリーズ・モデルにも装備可能になりました。この機能は、車両がカーブに進入するとき、ヘッドライトをステアリングの操作に追従して進行方向へ向けて動かし、適切に前方の道路を照射し、確実にドライバーを誘導します。

後続車にも有効なブレーキ・システム

優れたパフォーマンスを反映して、BMW 130i には非常に強力で有効なブレーキ・システムが装備されています。フロントおよびリアともに大径ブレーキ・ディスクが装備され、このセグメント最高の減速性能と制動力を発揮するほか、ブレーキ・パッドの現在の状態をモニターするセンサーにより絶大なる信頼性を保障する、ブレーキ・パッド磨耗表示機能が装備されています。

コントロール・ユニットはブレーキ・パッドの状態をモニターしながら、ドライバーの運転スタイルを考慮に入れて次の交換時期までの残走行距離を計算します。これはコンパクト・セグメントでは例のない機能です。したがって、ドライバーはダッシュボード中央上部に配置された大型カラー・モニター*でこの情報をいつでも確認したり、スピードメーターとタコメーターの間にあるオンボード・コンピューターを通じてデータを読み出したりできます。また、他の消耗部品の交換時期を確認することもできます。

BMW 1シリーズの4気筒モデルと同じように、BMW 130iにはコンパクト・セグメントでは極めて珍しい2段階点灯式BMWブレーキ・フォース・ディスプレイ*が装備されています。この革新技術を導入したことでの実際にBMWは追突防止に大いに貢献しています。通常の状況でブレーキを操作するとBMW 130iのブレーキ・ランプはいつものように点灯し、急ブレーキをかけた場合、あるいはABSが作動するような場合などでは、ブレーキ・ランプの点灯面積が拡大されます。このような条件下では、ブレーキ・ランプが通常よりも明るく点灯することで、後続車両のドライバーに危険な状況が前方に迫っていることを伝えます。後続車のドライバーは、前走車の強力なブレーキ・ランプの光を見て自然とブレーキ・ペダルを強く踏み込み、おのずと急ブレーキ操作をすることになります。

高級車並みのイージー・コントロール

BMWが開発したiDrive*コントロール・コンセプトが実現する操作の容易性は、コンパクト・セグメントでは極めて珍しいシステムであり、市販されている他のセグメントに対しても基準を確立するシステムです。ナビゲーション・システムを装備したBMW 130iを注文した場合は、必然的にさまざまな車両機能がBMW iDriveで利用できるようになります。センター・コンソールに設置されたコントローラーを「押す、回す、スライドさせる」だけで、ドライバーは初期設定だけでなく、副次的な機能や快適性に関連する機能、車両の各種機能の設定、車両の操作モードなども、すべてを一箇所で管理することができます。iDriveの操作は、最適化されたメニュー・ガイド方式により、ダッシュボード中央上部にある大画面のコントロール・ディスプレイに表示されます。

ヒーターやエア・コンディショナーなど、頻繁に使用する機能はセンター・コンソールにある個別スイッチを使って操作することができます。マルチファンクション・ステアリング・ホイールにあるスイッチは、特に走行中に重要な設定や機能を呼び出すために使用します。

コックピットをドライビング・ゾーンとコンフォート・ゾーンに明確に分け、フィニッシュに至るまで申し分のない仕上げが施されたBMW 130iは、最新鋭のプレミアム・カーに求められるすべてを備えた品質基準を提供します。またオプションとして、ドライバーはボイス・コントロール・システム*を使って多くの機能をコントロールすることもできます。

インテリア - どのスポーツ・カーよりも機能的

BMW 130i のドライバーには、コンパクト・セグメントの比類ないスポーツ性能の感動を最大 4 名の乗員と分かち合う機会があります。上質の快適性を発揮する優れたシートの他にも、BMW 130i には可倒式リア・シートのおかげで非常に広々とした、この種のスポーツ・カーには不釣合いな、可変容量式ラゲッジ・ルームが設定されています。後席の背もたれを倒すことで、トランク容量は 330 リットルから 1,150 リットルまで変化します。

テールゲートは 180cm の高さまではね上がり、後部からでも容易に荷物の積み降ろしが可能です。このテールゲートはリモート・コントロール式キーを使うか、あるいはテールゲートの BMW エンブレムに組み込まれているハンドルを押すとロック解除されます。550kg という最大積載量は、このボディ・コンセプトがあらゆる種類の輸送条件に対応する実用性を持っていることを明確に示しています。多くの収納ボックスや収納スペース、2 段式ラゲッジ・ルーム・フロア、ラゲッジ・ルームの電源ソケットもまた、この車両を日常使用する際の便利な実用的装備として貢献します。BMW 130i が提供するコンパクト・セグメントの新機能としては、急ブレーキをかけたときに後部に積載しているケースやバッグ、その他のアイテムが前方に移動してコックピットに侵入するのを防ぎ、乗員を保護するパーティション・ネット*があります。

BMW 130i では、機能的装備、快適性を重視した装備、それにスポーティな装備が、独特の方法でお互いに連携し合っています。たとえばシートは、快適性を持続し安定した安全なシート・ポジションを提供します。特に身長の高い人や低い人の要求を考慮した幅広い調節機能やシート・ポジションだけでなく、ステアリングまでの距離や高さも調節できるオプション機能のおかげで、ドライバーはいつでも理想的なシート・ポジションを見つけることができます。

BMW 130i の場合、アクセル・ペダル、ブレーキ・ペダル、クラッチ・ペダルがコンパクト・セグメントとしては唯一といえる配置になっています。エンジンが縦置きされているため、横置きエンジン搭載車両のようにペダル類が右側にずれることなく、各ペダルはまさに運転席の真正面に配置されています。このため、ドライバーは BMW 130i のステアリングに対する最適なシート・ポジションを見つけることができると同時に、積極的に操るドライビングが可能になり、長距離走行で身体にかかる負担や窮屈さを回避することができます。

4 方向調節式ランバー・サポート*は、オプションとして選択できます。スポーツ・シート*の空気式バックレスト幅調整機能*は、これまで最新鋭のスポーツ・カーやクーペだけに装備されていた特別機能であり、ボタンに触れるだけで運転席と助手席乗員の横方向サポートの強さを調節できます。

快適性と安全性に対するハイテク装備

コンフォート・アクセス*は、ドライバーがポケットからキーを取り出さなくても、BMW 130i に乗り込み、エンジンを始動し、車両を発進させることができるシステムです。ドライバーが車両付近に近づくと、すぐにキーが認証信号を送信します。ドライバーがドア・ハンドルを引くと、ドア・ロックは自動的に解除されます。あとは、スターター・ボタンを押してエンジンを始動させるだけです。

さらにコンパクト・セグメントにないユニークな機能としては、BMW 130i の室内照明と直接リンクしているドア周辺部の外部照明機能*があります。ドライバーまたは助手席乗員がロックを解除してドアを開けると、すぐにドア・ハンドルに内蔵された照明 (LED) が輝き、車両周辺を照らします。

BMW 1 シリーズに装備可能なオーディオ・システムは、この種のシステムの中では最強の高性能 HiFi ユニットから選択します。特別なハイライトは、フロント シートの下に標準装備されている大径セントラル・ウーファーと、Logic7 スタジオ・テクノロジー*が採用されている点です。

BMW 130i には、BMW Business CD システムが標準装備されています。

幅広いインフォテイメント機能に加え、1 シリーズでは高機能ナビゲーション・システム*だけでなく、携帯電話用の Bluetooth インターフェース*やインターネットへの接続*を含む BMW Assist テレマチック・サービス*なども選択することが可能です。繰り返しになりますが、BMW 1 シリーズはコンパクト・セグメントに分類されるクルマでありながら、このセグメントに属する他のクルマでは見られない機能と特性を提供します。

バッテリーの充電状態を常時監視する機能は、BMW 130i の信頼性を一貫して持続させるのに役立っています。コントロール・ユニットがモニターしている充電センサーが、バッテリーの容量不足あるいは容量低下を検出すると、瞬時に快適性に関連する機能だけを管理する電装品への電源供給を自動的に低下させ、結果としてエンジン始動に必要なバッテリー容量を維持します。

BMW 130i を走らせるたびに、スタート直後から非常に楽しい体験が待っています。また、キーに組み込まれているメモリー機能のおかげで、複数のドライバー別にシート・ポジションや各種設定を記憶させることができます。BMW 130i は、各個人が持つ自分専用のキーを使えば、最大 3 名までのドライバーを「識別」できると同時に、「正しいキーを持つ」ドライバーがコックピットでエンジンを始動させようとすると、自動的に重要な機能が呼び出されます。したがって、ドライバーは BMW 130i に乗り込み、エンジンを始動させた直後に、必ず各自の「個人専用」設定が呼び出されているわけです。

このキーには、最後に使用したオーディオの設定（音質の設定、音量、プリセットしたラジオ局）やエア・コンディショナーの設定（温度、エア配分）が記憶され、また電動式シート*の設定やミラー位置も記憶します。

BMW 130i を個人の要求に合わせてカスタマイズ：

選択期限は生産開始の 8 日前まで

さまざまな機能や特性を考えると、BMW 130i が本当に個性的なクルマであることがおわかりでしょう。そして同様に多彩な選択肢を誇るボディ・カラー、内装トリム、インテリア装備品、コンパクト・セグメントでは非常に稀な、独創的な装備ラインナップのおかげで、BMW 130i は各ユーザーが走行中に本当に楽しみたいと願っているものを提供します。

実際に、それぞれの BMW はオーナーの個性をはっきりと表現します。BMW 130i も例外ではありません。BMW 130i は、他の BMW と同様に標準化されたプロセス、あるいはあらかじめ定められた一定のパッケージ装備で組み立てられるのではなく、むしろ顧客ひとりひとりの注文に基づき、まさに必要に応じて組み立てられます。したがって、同じ年に 2 台の同一仕様の BMW 130i が生産ラインから巣立つことは事実上ありません。

この種の多様性は、間違いなく高度なロジスティクスを必要とします。したがって BMW グループは、生産前も生産中も、絶大なる信頼性と柔軟性を発揮できる生産システムを開発したのです。顧客志向の販売・生産プロセスは、1 台の BMW の生産にかかるすべてのステップと作業を綿密に調整します。ユーザーにとって大きなメリットとなるのは、組み立て開始の 8 日前までなら、すでに発注したクルマの機能や装備品を変更することができる点です。